

平成 27 年度 第 2 回学校問題解決サポートセンター講演会 実施報告

日時 平成 27 年 8 月 5 日（水）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場所 東京都子供家庭総合センター 6 階大研修室

参加 73 名

【区部 41、市部 16、都立学校 15、教育庁 1（管理職 38、統括・指導主事 8、主幹教諭 9、主任教諭・教諭 17、その他 1）】

内容

(1) 挨拶

統括指導主事

(2) 平成 27 年度 学校問題解決サポート事業について

統括指導主事

(3) 「多様化・複雑化する学校問題への対応」

～対話型コミュニケーションによる問題解決を目指して～

講師 明治学院大学 名誉教授 井上 孝代 氏

講演概要

問題を解決するためには、相手の価値観を尊重した対話型コミュニケーションが有効であることを、御講演いただきました。

対立の解消と和解に向けて、具体的な事例を基に御説明いただき、発想の転換が大切であることや共感的な対話をとおして解決を図ることが大切であることを理解できました。

また、演習を通じて理論を体感でき、参加型の講演会として評価をいただきました。



参加者のアンケートから

- ・ 人にはそれぞれコミュニケーションの特徴があるため、そこを理解した上でトランセンド法、コミュニティカウンセリング等の具体的な方法を活用していきたいと思った。
- ・ 問題解決の新たな視点として、共通の利益を確認することを今後に生かしていきたい。
- ・ 学校に対する要求は、保護者の思いがどこにあるのか見極めることで、対応は感情的にならずに冷静に対応できるようになると感じた。
- ・ 自己及び他者を知ることと、人間理解を深めることの難しさや重要性を再確認でき、子供への指導や保護者への対応に役立てていきたいと思った。